

あなたの

献血

で助かる命があります

PIAフェスタ

横浜金沢東ロータリークラブより
素敵なプレゼントがあるっち!



10月24日(金)

時間：10:00～12:30 13:30～16:00

受付場所：横浜市金沢産業振興センター正面アプローチ
(主催：横浜金沢東ロータリークラブ)

※以下の方は、今回の献血はご遠慮くださるようお願いいたします。

- ☆ 3日以内に治療目的の服薬がある場合
- ☆ 3日以内に出血をともなう歯科治療をした場合
- ☆ 海外から帰国後、4週間以内の方
- ☆ 英国に1980年～96年までの間に1か月以上滞在された方。
- ☆ 輸血を受けたことがある方

ご本人様の健康を考えてお断りする場合がありますのでご了承下さい。

◎ 当日服薬しても採血可能な薬 ◎

- ①ビタミン薬・・・ビタミン薬による貧血治療中を除く
- ②ミネラル剤・・・鉄剤による貧血治療中を除く
- ③漢方薬・・・治療目的(肝疾患、感冒、喘息等)を除く
- ④花粉症の薬・・・非ステロイド系抗アレルギー薬・抗ヒスタミン薬 など
- ⑤高脂血症治療薬
- ⑦胃腸薬
- ⑧降圧薬・・・心臓などの合併症がないこと・複数剤使用しても血圧が安定し正常域にあること



OK

共催：横浜金沢産業連絡協議会

＋ 神奈川県赤十字血液センター



献血のお願い



注目!!

ご協力いただきました皆様に
無料で検査結果お届けいたします!



健康チェックにお役立て下さい

生化学検査

(ALT・γ-GTP・総蛋白・アルブミン・コレステロール・グリコアルブミン等) 7項目

血球計数検査

(赤血球数・ヘモグロビン濃度・ヘマトクリット値・白血球数・血小板数等) 8項目
をサービスで後日お知らせいたします!

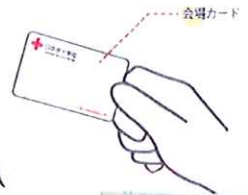


献血の受付手順が変わります。

日本赤十字社では平成26年5月より、新たなシステムを全国で段階的に導入し、献血の受付を行うこととなりました。関東甲信越では、6月25日より新たなシステムを使用して受付を開始いたします。
なお、主な変更点は次のとおりです。

①献血申込書の電子化

従来の献血申込書を廃止し、献血受付時の情報は電子化し会場カード(ICカード)に書き込みます。その後、「問診回答システム」の情報も書き込み、検診医師に引継ぎます。



②「問診回答システム」の導入

現在、献血ルームなどの固定施設で導入しています。「問診回答システム」を献血バスの受付会場でも導入いたします。「問診回答システム」はタブレット端末を利用したもので、文字が見やすくなり、操作しやすいタッチパネル式となります。



③生体(指静脈)認証による本人確認

献血受付時の本人確認の方法に「生体(指静脈)認証」を導入しました。従来の暗証番号による確認では、暗証番号を失念する可能性がありましたが、専用の機械に指をかざしていただくだけで迅速かつ正確に本人確認が可能となります。



<お願い>

「会場カード」の取り違い防止のため、献血受付の際に「会場カード」の番号を書いたリストバンドを手首に付けさせていただきます。献血の際、タッチパネルの操作や指静脈認証などによりお時間をいただき、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、何卒ご理解をお願いします。



献血の手順

受付からカードの受け取りまで約45分ほどで完了します!

- 1 生体(指静脈)認証による本人確認
- 2 氏名・住所等を登録・確認のうえ会場カードに書き込む
- 3 会場カード番号を手首に付けます
- 4 タッチパネルで問診回答



・献血受付時の本人確認の方法に「指静脈認証」を導入しました。献血者の方が機械に指をかざしていただくだけで、迅速かつ正確な本人確認が可能となります。



(会場カード)
・献血申込書(診察録)のデータを会場カードに書き込みます。



会場カードの流れ



・問診の回答データを書き込みます。

- 5 問診および血圧測定
- 6 血色素量の測定、血液型事前判定
- 7 献血
- 8 献血カードの発行



・血圧を測定し、そのデータをカードに書き込みます。また、問診回答データ等を確認し、検診医師が問診します。



・血色素量、血液型のデータを会場カードに書き込みます。



・会場カードのデータをパソコンに移しサーバーに転送を行い、献血カードを発行します。